



こだわりの品質を、すべてはお客様のために。

ファーストコーポレーション株式会社

2022年5月期（第11期）
第1四半期

決算説明資料

2021年10月8日

東京証券取引所 市場第一部 コード1430

2022年5月期第1四半期（第11期） 決算説明資料 目次

1. 用地成約と手持不動産の状況	P 3
2. 受注の状況	(1) 受注実績 P 4
	(2) 受注推移と新規顧客の状況 P 5
3. 当期業績の概況	(1) 損益の状況 P 6
	(2) 売上総利益の状況 P 7
	(3) 貸借対照表（要約） P 8
	(4) キャッシュ・フロー計算書（要約） P 9
4. 利益還元方針等	P 10
5. 参考資料	(1) 分譲マンションの市況 P 11
	(2) 分譲マンション販売価格の状況 P 12
	(3) 建設コスト P 13
	(4) マンション建設に関する各分野の状況 P 14
6. ZENAS工法について	P 15
7. ウェルビーイングシティ構想	(1) ウェルビーイングの概念 P 16
	(2) ウェルビーイングシティ構想とは P 17
	(3) マンションブランド「CANVAS」 P 18
8. サステナビリティへの取組み	P 19
9. 新型コロナウイルス感染防止対策について	P 20

1. 用地成約と手持不動産の状況

第11期1Q 成約案件

区分	所在地	地積	当期仕入	当期売却	企画
事業用地	神奈川県相模原市緑区	7,774.41 m ²	2021. 7月	2021. 7月	分譲マンション
自社開発	東京都文京区	457.47 m ²	取得済	2021. 6月	商業施設 (千石ファーストビル)

第11期1Q末 手持不動産の状況

区分	所在地	現況	企画	着工(予定)	竣工(予定)	予定工期											
						22/05期				23/05期				24/05期			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
再開発	群馬県前橋市	施工中	超高層複合施設	2020.11月	2024.3月												
	神奈川県横浜市緑区	再開発予定用地	未定	-	-												
	青森県弘前市	再開発予定用地	未定	-	-												
土地建物	千葉県千葉市中央区	リーシング中	売却	-	-												
共同事業	神奈川県横須賀市	完成物件、分譲中	分譲マンション	2018. 3月	2020. 2月												
	東京都稲城市	完成物件、分譲中	アクティブ・シニア向け分譲マンション	2018. 6月	2020. 3月												
	東京都八王子市	施工中	ウェルビーイング住宅 (CANVAS南大沢)	2020. 3月	2022.11月												
	千葉県千葉市中央区	既存建物解体中	分譲マンション	2020. 8月	2026. 3月												
	神奈川県横浜市鶴見区	施工中	分譲マンション	2021. 6月	2023. 2月												
	神奈川県藤沢市	建物プラン検討中	分譲マンション	2022. 3月	2024. 3月												
自社開発	東京都墨田区	施工中	賃貸マンション	2020.10月	2022. 2月												
	福岡県福岡市博多区	施工中	オフィスビル	2020.10月	2022. 4月												

- ・ 2021年9月に神奈川県横浜市港北区の事業用地仕入れに係る売買契約を締結済、10月に売却に係る売買契約を締結済。引渡しは2021年12月予定。
- ・ そのほか、2021年9月に相模原市南区の事業用地仕入れに係る売買契約を締結済、10月に売却に係る売買契約を締結予定。

2. 受注の状況（1）受注実績

当期受注の概要

- ・ 当期受注計画は7件、220億円
- ・ うち2件は造注案件、150億円
- ・ 1Qに一般請負3件受注済

*引き合いは依然活況であるが、成約までに時間を要する傾向が続く

受注実績

単位：百万円

	18/05期	19/05期		20/05期		21/05期		22/05期			
	実績	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比	実績 (21/9迄)	前期比
受注額	10件 20,951	7件 13,032	62.2%	9件 14,323	109.9%	10件 23,103	161.3%	7件 22,000	95.2%	3件 5,170	22.4%
内、造注方式 (比率)	5,530 26.4%	3,519 27.0%	63.6%	1,873 13.1%	53.2%	8,274 35.8%	441.8%	15,000 68.2%	181.3%	0 0.0%	0.0%
期末受注残高	20,592	17,805	86.5%	18,489	103.8%	26,272		-		-	

注) 受注金額には、追加・小工事等を含んでおります。

受注内容 総戸数	934	559	632	850	970	286
平均戸数	93	80	70	106	139	95

2. 受注の状況（2）受注推移と新規顧客の状況

受注推移

		12/05期	13/05期	14/05期	15/05期	16/05期	17/05期	18/05期	19/05期	20/05期	21/05期	22/05期	累計
		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期計画	
合計	件数	6	8	14	10	7	8	10	7	9	10	7	96
	戸数	188	382	767	737	558	731	934	559	632	850	970	7,308

新規取引契約先

【第1期】

1. 一建設(株)
2. (株)アーネストワン

【第2期】

3. (株)オープンハウス・ディベロップメント
4. 大和地所レジデンス(株)

【第3期】

5. リベステ(株)
6. (株)ビッグヴァン
7. ジェイレックス・コーポレーション(株)
8. セコムホームライフ(株)

【第4期】

9. (株)タカラレーベン
10. 三信住建(株)
11. NTT都市開発(株)
12. 中央日本土地建物(株)
13. 日鉄興和不動産(株)
14. サンヨーホームズ(株)

【第5期】

15. 三井不動産レジデンシャル(株)
16. セントラル総合開発(株)

【第6期】

17. 阪急阪神不動産(株)
18. (株)湘南交響
19. (株)中央住宅
20. 安田不動産(株)
21. (株)三栄建築設計
22. (株)日本エスコン
23. 東京建物(株)

【第7期】

24. JR西日本プロパティーズ(株)
25. 双日新都市開発(株)
26. ダイヤモンド地所(株)

【第8期】

27. オスタラ下落合特定目的会社
28. 東急不動産(株)

【第9期】

29. パラダイスリゾート(株)
30. (株)リビタ
31. 伊藤忠都市開発(株)

【第10期】

32. 三菱地所レジデンス(株)
33. 野村不動産(株)

3. 当期業績の概況（1）損益の状況

- 第11期は、前期比増収・増益の見通し
- 1Qは不動産の売却により、前期比大幅な増収・増益

損益状況の推移 [前期実績・計画値との比較]

単位：百万円

	2021/05期 実績					2022/05期 見込					2022/05期
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績	2Q-4Q	通期	(前期比)	(計画比)	計画値
売上高	3,742	3,928	4,457	8,790	20,919	10,068	16,431	26,500	126.7%	100.0%	26,500
売上原価	3,355	3,515	4,030	7,087	17,989	9,112	14,346	23,459	130.4%	100.0%	23,459
売上総利益	386	412	427	1,702	2,929	955	2,085	3,041	103.8%	100.0%	3,041
売上高総利益率	10.3%	10.5%	9.6%	19.4%	14.0%	9.5%	12.7%	11.5%			11.5%
販売費及び一般管理費	273	275	264	450	1,263	334	986	1,321	104.6%	100.0%	1,321
販管費率	7.3%	7.0%	5.9%	5.1%	6.0%	3.3%	6.0%	5.0%			5.0%
営業利益	113	137	162	1,252	1,666	621	1,098	1,720	103.2%	100.0%	1,720
売上高営業利益率	3.0%	3.5%	3.6%	14.2%	8.0%	6.2%	6.7%	6.5%			6.5%
経常利益	99	125	145	1,239	1,608	620	1,079	1,700	105.7%	100.0%	1,700
売上高経常利益率	2.7%	3.2%	3.3%	14.1%	7.7%	6.2%	6.6%	6.4%			6.4%
当期（四半期）純利益	65	82	96	881	1,125	435	746	1,182	105.0%	100.0%	1,182
売上高当期純利益率	1.8%	2.1%	2.2%	10.0%	5.4%	4.3%	4.5%	4.5%			4.5%

注) 金額は表示単位未満を切り捨てにて表示しております。

3. 当期業績の概況（2）売上総利益の状況

- 完成工事高は順調に推移
- 不動産売上高は、通期計画値100億円のうち1Qで68億円の実績
手持ち不動産の売却により、通期計画値は達成の見通し

売上総利益の内訳 [前期実績・計画値との比較]

単位：百万円

	2021/05期 実績					2022/05期 見込					2022/05期
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績	2Q-4Q	通期	(前期比)	(計画比)	計画値
売上高	3,742	3,928	4,457	8,790	20,919	10,068	16,431	26,500	126.7%	100.0%	26,500
完成工事高	3,237	3,820	4,161	3,732	14,952	3,082	12,488	15,571	104.1%	100.0%	15,571
不動産売上高	310	–	183	4,461	4,956	6,793	3,265	10,058	203.0%	100.0%	10,058
共同事業収入	170	58	37	423	689	77	265	343	49.8%	100.0%	343
その他の売上高	23	49	74	173	321	114	412	527	163.8%	100.0%	527
売上総利益	386	412	427	1,702	2,929	955	2,085	3,041	103.8%	100.0%	3,041
完成工事総利益	324	397	369	166	1,257	294	1,400	1,695	134.8%	100.0%	1,695
不動産売上総利益	28	▲ 1	43	1,424	1,493	648	486	1,135	76.0%	100.0%	1,135
共同事業収入総利益	20	7	3	73	105	2	56	58	55.9%	100.0%	58
その他の売上総利益	13	8	11	38	72	10	141	151	209.9%	100.0%	151
売上高総利益率	10.3%	10.5%	9.6%	19.4%	14.0%	9.5%	12.7%	11.5%			11.5%
完成工事総利益率	10.0%	10.4%	8.9%	4.5%	8.4%	9.6%	11.2%	10.9%			10.9%
不動産売上総利益率	9.0%	–	23.5%	31.9%	30.1%	9.5%	14.9%	11.3%			11.3%
共同事業収入総利益率	12.3%	12.9%	9.0%	17.3%	15.3%	2.9%	21.1%	17.2%			17.2%
その他の売上高総利益率	56.4%	17.8%	15.1%	22.3%	22.5%	9.1%	34.2%	28.8%			28.8%

注) 金額は表示単位未満を切り捨ててにて表示しております。

3. 当期業績の概況（3）貸借対照表（要約）

- 不動産売却に伴う返済により、借入金が減少
- 利益率の改善と剰余金の蓄積により、財務体質の向上を図る

単位：百万円

	2021/05期 期末実績	2022/05期		前期末増減	主な増減要因
		1Q実績	期末計画		
流動資産	17,153	15,626	17,749	▲ 1,526	
現金及び預金	4,276	5,034	6,696	758	
売掛金	607	641	1,564	33	
完成工事未収入金	4,349	2,769	3,637	▲ 1,579	①工事代金の回収等
販売用不動産(仕掛含む)	7,515	6,727	4,886	▲ 787	②不動産取得、売却、JV払出等
その他流動資産	405	454	862	48	
固定資産	274	246	209	▲ 28	
資産の部 合計	17,427	15,872	17,958	▲ 1,555	
流動負債	7,340	5,798	7,673	▲ 1,541	
支払手形	2,565	2,050	2,284	▲ 515	
工事未払金	2,471	2,123	2,396	▲ 347	
短期借入金(1年内長期含む)	930	330	0	▲ 600	③返済
その他流動負債	1,374	1,295	2,993	▲ 79	
固定負債	3,804	3,825	2,795	20	
長期借入金	3,675	3,675	2,625	0	
その他固定負債	129	150	170	20	
負債の部 合計	11,145	9,624	10,468	▲ 1,521	
純資産	6,282	6,248	7,490	▲ 33	
資本金	728	730	730	1	
剰余金等(新株予約権含)	5,553	5,517	6,760	▲ 35	④配当金支払、内部留保蓄積等
負債・純資産 合計	17,427	15,872	17,958	▲ 1,555	

*自己資本比率	36.0%	39.3%	41.7%
(販売用不動産を除く)	63.3%	68.3%	57.2%
*自己資本純利益率(ROE)	18.2%	7.0%	17.2%

3. 当期業績の概況（４）キャッシュ・フロー計算書（要約）

- 当社のキャッシュ・フローは用地成約状況等により大幅に変動
- 1Qの営業キャッシュ・フローはプラスで着地、通期でもプラスの見通し

単位：百万円

	2021/05期	2022/05期		前期末増減	【主な増減要因】
	実績	1Q実績	期末計画		
税引前当期純利益	1,608	620	1,650	▲ 988	
減価償却費	14	1	16	▲ 13	
退職給付引当金の増減	13	5	16	▲ 7	
株式給付引当金の増減	34	▲ 11	24	▲ 46	
支払利息	62	7	40	▲ 54	
売上債権の増減	142	1,540	1	1,398	・工事代金の回収等
棚卸資産の増減	356	801	2,654	444	・不動産取得、売却、JV払出等
仕入債務の増減	776	▲ 862	▲ 412	▲ 1,638	
未成工事受入金の増減	▲ 41	203	20	244	
法人税等の支払額	▲ 311	▲ 350	▲ 650	▲ 39	
その他	158	▲ 149	1,498	▲ 308	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,814	1,806	4,857	▲ 1,008	
固定資産の取得、敷金、その他	▲ 45	▲ 4	0	40	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 45	▲ 4	0	40	
短期借入金	▲ 3,200	0	0	3,200	
長期借入金	1,261	▲ 600	▲ 1,980	▲ 1,861	・返済
自己株式・配当金・その他	▲ 646	▲ 443	▲ 457	504	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,584	▲ 1,043	▲ 2,437	1,541	
現金及び現金同等物の増減額	185	758	2,420	573	
現金及び現金同等物の期首残高	4,091	4,276	4,276	185	
現金及び現金同等物の期末残高	4,276	5,034	6,696	758	

4. 利益還元方針等

利益還元方針

1. 株主還元は「配当」及び「株主優待」
2. 配当性向**30%以上**、内部留保の状況等を勘案し決定
3. 配当実施は期末のみ

期末配当

- ・ 第11期剰余金配当は、1株当たり30円の予定

株主優待

- ・ 500株以上を継続して1年以上保有する株主様にクオカードを贈呈

保有株式数	優待内容	
	継続保有1年以上3年未満	継続保有3年以上
500株以上1,000株未満	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分
1,000株以上5,000株未満	クオカード 3,000円分	クオカード 5,000円分
5,000株以上	クオカード 5,000円分	クオカード 10,000円分

※基準日は毎年11月30日

自己株式

100万株取得済

安定配当の実施と機動的な自己株式取得により、利益還元拡充に努める。

5. 参考資料（1）分譲マンションの市況

分譲マンションの市況について

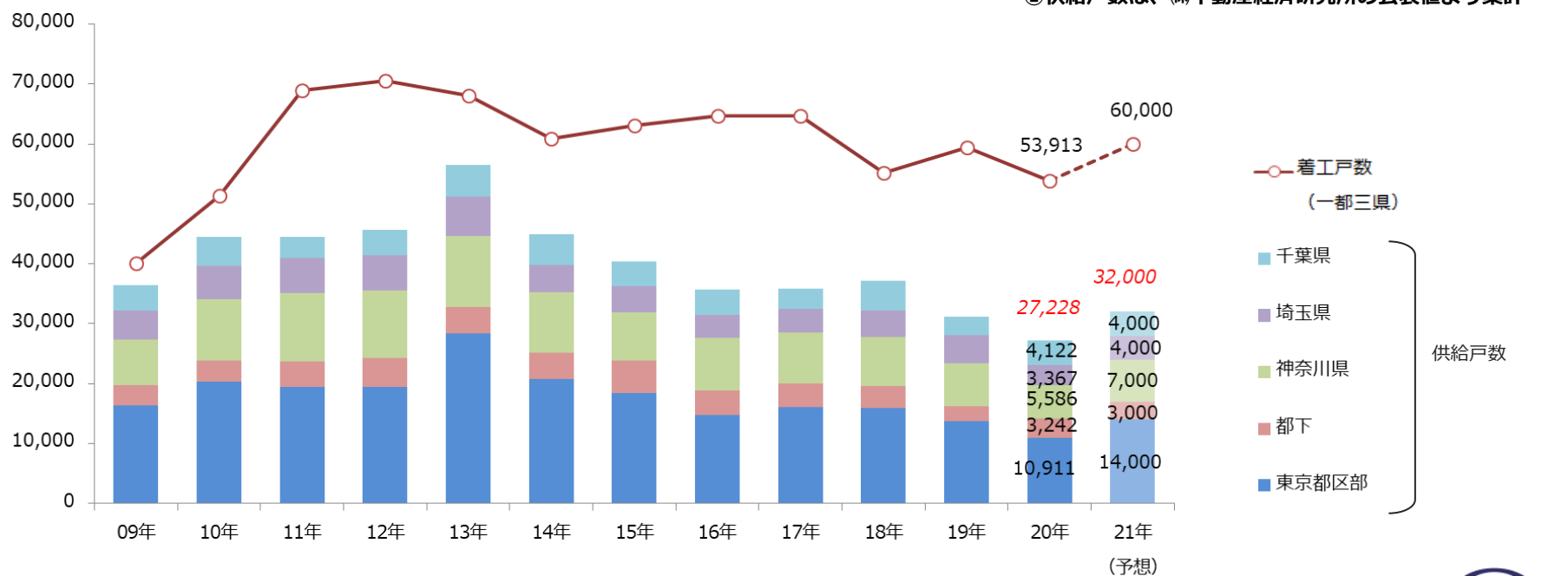
●東京圏(1都3県)のマンション建築の着工と供給予想
 [2021年予想] [2020年実績]

		対前年比		
①着工戸数	60,000	(11.3%増)	53,913	暦年(通年)
②供給戸数	32,000	(17.5%増)	27,228	暦年(通年)

※2021年戸数は2020年を上回る見通しであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きは不透明

当社
 2021年5月期(第10期事業年度)
 竣工ベース **486戸** (シェア: 1.79%)

分譲マンション着工・供給戸数の推移 (戸)



5. 参考資料（2）分譲マンション販売価格の状況

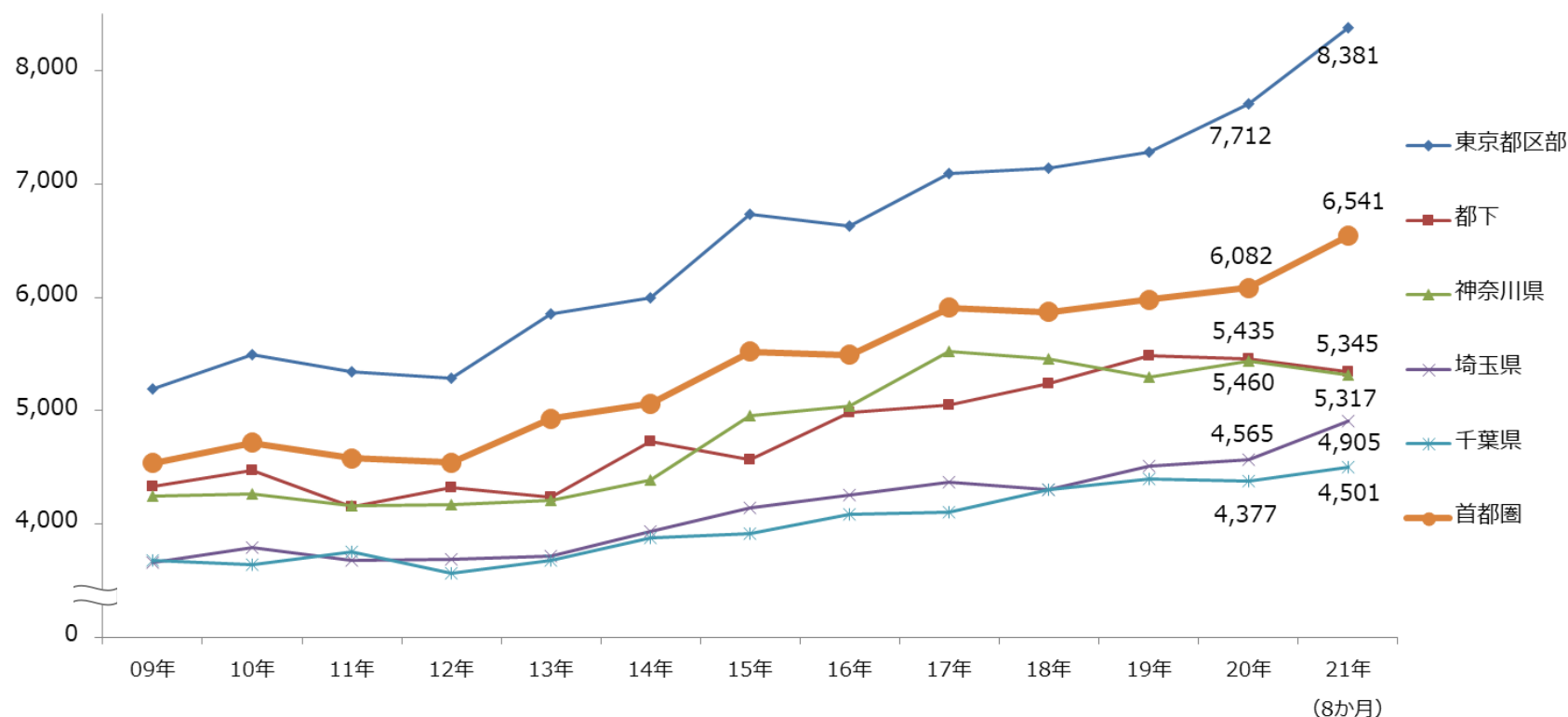
東京圏の分譲マンション販売価格の状況

都区部の高額物件の供給により、平均価格を押し上げ

- ・首都圏のマンション価格は、2018年に一段落の兆しとなるも、2019年から再び上昇基調
- ・2021年（8か月）では、都区部高額物件の影響で首都圏平均販売価格が大幅上昇

分譲マンション販売(供給)価格の推移（万円）

注）情報は(株)不動産経済研究所の公表情報



5. 参考資料（3）建設コスト

東京圏の建築資材の価格の状況

※2015年度（平成27年度）の平均価格を基準(100)として算定

1) 都市別建設資材価格指数(建築)

2016年9月以降上昇に転じ2019年3月に最高値を更新後2020年まで下落基調、2021年から**再上昇し最高値を更新**。

2) 国土交通省の2021年3月の主要建設資材需給・価格動向調査

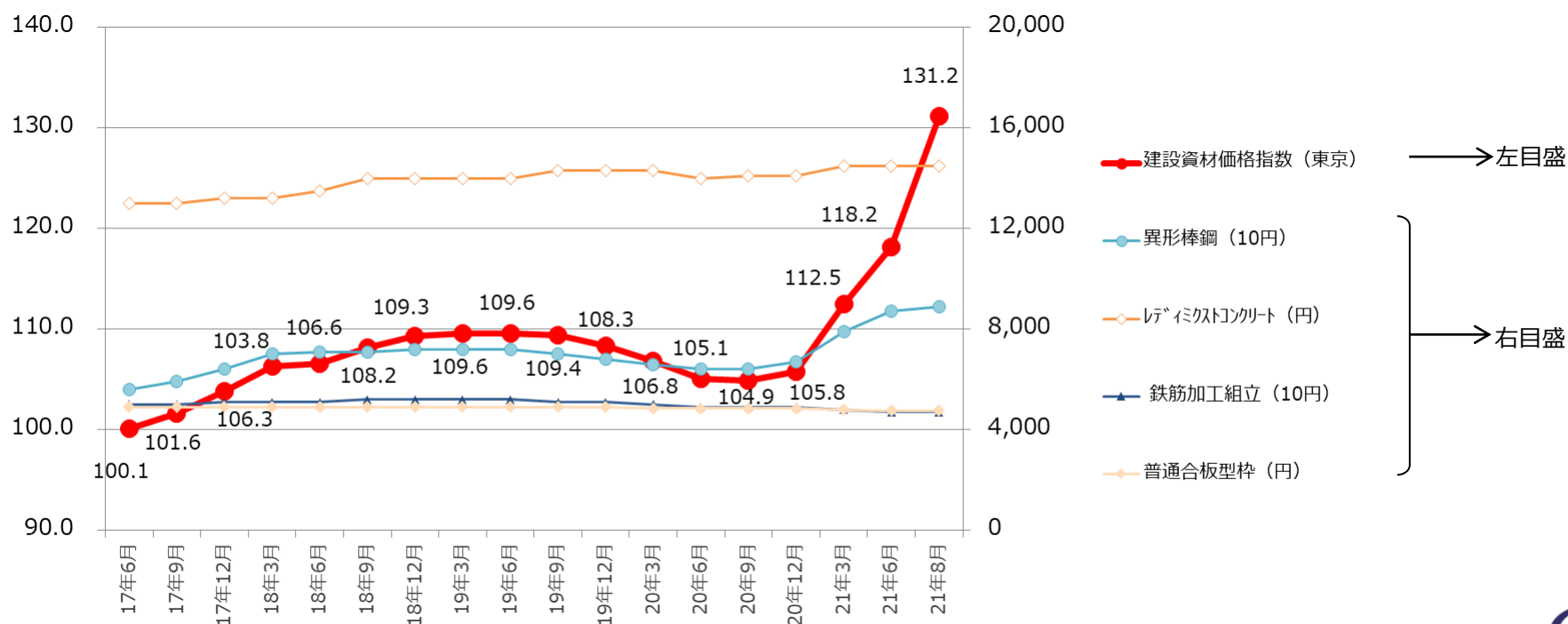
価格動向：「異形棒鋼・H型鋼・木材はやや上昇」「その他の資材価格は横這い」

資材需給：「木材はややひっ迫」「その他の資材は均衡」

在庫状況：「H型鋼・木材はやや品不足」「その他は普通」

注) 情報は、(一財)経済調査会、(一財)建設物価調査会の公表情報

主要建設資材価格の推移



5. 参考資料（4）マンション建設に関する各分野の状況

東京圏のマンション建設に関する各分野の状況

	マクロ見通し	当社への影響・対策
人口・世帯数	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で東京圏への人口流入に一時的にブレーキかかるも、2025年に東京都の人口は1,417万人程度のピーク、以後減少し2060年には1,192万人との予想 ●東京都の世帯数は、2035年に724万世帯程度のピーク、以後減少し2060年は643万世帯との予想 	<ul style="list-style-type: none"> ●シェア拡大余地は充分にあり、マクロ面の影響は軽微 ●転入の大半は若年層であり、将来の住宅一次購入層は維持
建設投資	<ul style="list-style-type: none"> ●公共建設投資は微減 ●新型コロナウイルス感染症の長期化で民間建設投資も微減 ●再開発の需要は多く、2021年以降の受注残も旺盛な状況 	<ul style="list-style-type: none"> ●分譲マンション施工の引合いは以前活況 ●新免震工法により競合他社と差別化、受注拡大を目指す ●再開発事業を推進、超高層建築の実績積上げ
住宅需要	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年の東京圏の着工戸数は53,913戸、2021年は8月まで約3万7千戸の実績、暦年では6万戸程度と、2019年と同水準で推移と予想 ●2020年の供給戸数は27,228戸、2021年は8月まで約1万7千戸の実績、暦年では3万2千戸程度まで回復するとの予想 ●在庫は6千戸台での推移と予想 	<ul style="list-style-type: none"> ●都区部のほか郊外案件の開発にも注力、コロナ対策・テレワーク等新しい生活様式を見据えた企画を提案 ●ウェルビーイングシティ構想を推進、人生100年時代を見据え、住まう方々の自分らしい自立した暮らしを持続的に支える様々なサービスを提供 ●施主との良好な関係を構築、継続的・長期的取引により受注を確保 ●人材確保により生産キャパを拡大
建設コスト (地価・人件費・資材)	<ul style="list-style-type: none"> ●地価は高止まりの状況が継続 ●労働力の需給バランスは落ち着くも、人件費は高止まり状態 ●東京都の建築資材価格は上昇傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ●土地及び建設コストの上昇により、マンション販売価格に見合う企画案件が減少 ●コストマネジメントに優れた施工の実現
周辺ビジネスの状況	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者向け住宅需要の増加 ●東京圏の中古マンション市場は弱含みながら高水準で安定推移 	<ul style="list-style-type: none"> ●シルバー層向けマンション需要増への取組 ●大規模修繕、収益不動産等、収益基盤を多様化
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●働き方改革の推進（時間外勤務時間の抑制、週休2日の実現） ●施工方式改善による工期短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ●工期確保に向け施主との協議を開始 ●工程の延伸に伴う売上金額への影響は限定的

6. ZENAS工法について



【ZENAS工法とは】

12m以上のワイドスパンを実現する新免震工法

- 一般的な分譲マンションのワイドスパンは7メートル以上
- 柱間を12m以上のワイドスパン或いはそれ以上の大スパン（それを接続する24m以上）とした架構構造による基準構造ブロックを接続
- 中高層から40階建てまで活用可能

【ZENAS工法の特徴・効果】

- 柱・壁のない大空間を実現
- 敷地形状や方位などの立地条件に柔軟に対応
- バルコニー側間口を大開口とすることにより換気効率を向上
- 開放的で採光に優れたバリエーション豊富な間取りが可能
- 柱の本数減少によりコンクリート型枠使用量・型枠合板使用量・作業員数を縮減、環境負荷を低減しコストマネジメントに優れた工法

【今後の予定】

- 本工法採用物件は全て大臣認定取得予定
- 早期の実物件採用を目指す



7. ウェルビーイングシティ構想（1）ウェルビーイングの概念

ウェルビーイングとは

- ・ 身体的
 - ・ 精神的
 - ・ 社会的
- に良好な状態にあることを意味する概念



健康は財産
100歳まで自立



ウェルビーイングの考え方の整理



ウェルビーイングをコンセプトとした
新ジャンルのマンションプロジェクト

『ウェルビーイングシティ構想』を始動

7. ウェルビーイングシティ構想（2）ウェルビーイングシティ構想とは

2021年9月14日放送のテレビ東京「WBS(ワールドビジネスサテライト)」にて『ウェルビーイングシティ構想』が紹介されました。

ウェルビーイング

Well-Being

ウェルビーイングシティ構想



＜“自分に正直でいい、自分らしく”をかなえる暮らし。＞

マンションという「住まい」を提供するだけでなく、住まう方々の豊かな暮らしを実現するための様々なサービスを提供し続けることで、持続的かつ多面的に満たされる暮らしを提供し、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

詳しくはこちらから

『ウェルビーイングシティ構想』公式サイト

URL: <https://www.wellbeing-city.com>

7. ウェルビーイングシティ構想 (3) マンションブランド「CANVAS」

自分らしい生活を、一生涯。

住食働遊学健看

ウェルビーイングシティ構想の第一弾

新マンションブランド
「CANVAS(キャンバス)」

CANVAS

第一弾 CANVAS南大沢

<CANVAS南大沢 外観イメージ>



それは絵画で用いるキャンバスのように、

住う方の思いを叶え、

ライフスタイルを自在に塗り替えられるマンションブランド。

一人ひとりの暮らしを尊重し、

ウェルビーイングな毎日を提供します。

導入サービス一例



複数のシェフを起用し、
メニューが2週間ごとに入れ替わる
テラス付きレストラン(地域住民にも一般開放)。



最寄り駅はもちろん、
何度でも無料で好きな場所へ
送迎してくれるシャトルバス(3km圏内)。



現役世代の方でも
テレワークを快適に行える
リモートブースと会議室をご用意。



杏林大学病院←連携→新川すみれクリニック
24時間いつでも
お医者さんと連絡・相談できる。

8. サステナビリティへの取り組み

当社は、『より良質な住宅を供給し、豊かな住環境に貢献する』を社是とし、より良質な住宅を供給するという社会的使命を果たすべく事業を推進しております。安全・安心と品質を誠実に追求することにより、あらゆるステークホルダーからの信頼獲得と社会への貢献を目指しております。

SDGsをはじめとした社会・環境問題に事業を通じて取り組み、持続可能な社会の実現を目指し、環境負荷の低減やステークホルダーとの連携・協働に努めてまいります。

当社の取り組み

環境	環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ● ZENAS工法の推進による建築資材の削減 ● 建築廃棄物の抑制と資源循環
社会	安心・安全な住環境の提供 地域社会 人材の多様性 社員活力向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物の強度を保つ重要な躯体部分（杭、配筋、生コンクリート）の品質について、第三者機関による検査を導入し、建物の品質を確保 ● ウェルビーイングシティ構想推進により、住まう方々の自分らしい自立した暮らしを持続的に支えるサービスを提供 ● 地域経済活性化と魅力的で活気のある持続可能な街づくりへの貢献 ● 全現場作業所へのAED設置、全社員の救命技能認定証取得 ● 性別・国籍・信条・年齢等にとらわれない人材採用 ● 公平な評価による人材登用 ● 社内研修・資格取得支援制度等による社員1人1人の成長サポート
ガバナンス	内部統制 法令遵守 リスク管理 IR 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部統制システムの整備 ● コンプライアンスの徹底 ● リスクマネジメントの推進 ● 透明性、公平性、継続性を基本とした迅速な情報開示 ● 個人情報、内部情報の適切な管理体制の構築

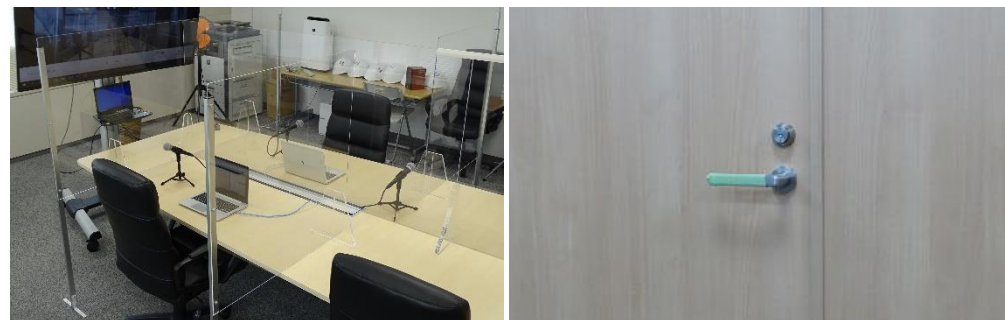
「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に加入しました。

9. 新型コロナウイルス感染防止対策について

当社では、以下の各施策を早期に導入し感染防止に努めております。

【本社】

- ドアノブ等への抗菌テープ貼付、時差出勤・テレワーク・マイカー通勤の実施（2020年2月～）
- 手指消毒の徹底、事務所内のマスク着用（同3月～）
- マスク及び消毒液等の備置・配付（同3月～）
- 不要不急の外出・来客の制限、ウェブ会議の活用（同3月～）
- 透明アクリル板設置による飛沫対策（同4月～）
- 毎営業日始業前のオフィス内全般の消毒（同4月～）



【現場作業所】：本社と同時期に導入

- 入場時の検温、手指消毒
- 人と人との間隔をあけた朝礼
- 休憩スペース・事務所内の換気
- 透明アクリル板設置による飛沫対策
- 手指消毒の徹底、作業中のマスク着用
- マスク及び消毒液等の備置・配付
- 不要不急の外出・来客の制限、ウェブ会議の活用





こだわりの品質を、すべてはお客様のために。

ファーストコーポレーション株式会社

本資料における業績予測及び将来の見通しは、当社が公表時点で把握可能な情報に基づき判断した仮定及び予想であり、実際の業績は主要市場の経済状況、不動産及びマンション市況、労働力需給、建築資材価格、金利などのさまざまな要因の変化により乖離する場合がございますので、予めご了承ください。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料は、当社の事前の承諾なく複製または転用等を固くお断りいたします。